

令和6年度 学校評価アンケート結果分析

<考察と課題>

保護者アンケートより

- 教育方針、教職員の愛情や熱意、児童生徒の様子等、学校教育の重要な内容に関しては肯定的な評価の割合が高い。
- 10「教育活動の公開」については、肯定的な評価が昨年度比+5.0%であり、保護者や地域の方に学校を見てもらおう、知ってもらおうという学校側の姿勢が伝わりつつある。
- ▲否定的な評価が10%以上だった項目や昨年度より評価が4パーセント以上下がった項目については、以下の課題が考えられる。
 - ・5「相談しやすい雰囲気」について
9「保護者との意思疎通」の評価が少し下がっていることも併せて考えると、**教職員側からの積極的な働き掛けやコミュニケーションが求められている。**
 - ・6「交流・経験拡大」について
コロナ禍を機に行事等の精選をした。徐々に集団活動や外部の人との関わりももてるようになってきたため、**ニーズや目的を整理し、卒業後の生活に向けて地域とつながる活動を計画していく。**
 - ・7「教育方針等の発信」、8「自己評価の発信」について
10月から、学習や行事の様子のHP掲載や、地域の金融機関等で場を借りて当校の取組や児童生徒の作品の紹介を始めている。今後も、**効果的な発信方法を工夫していく。**
 - ・24「一人一人に合った教材・教具」について
他の項目の結果からも、保護者は児童生徒の実態に即したきめ細かい指導を期待している。教職員によって経験等に差があることは仕方ないが、引き続き**すべての教職員が専門性を高められるよう研修等を行っていく。**
- ▲25「体罰防止」と26「いじめ等への対応」については、「わからない」の割合が20%以上である。学校全体で様々な取組を行っているので、その**具体的な内容を保護者へ伝え、家庭とも連携を図っていく。**

生徒アンケートより

- 教職員の態度や勤務に対する姿勢について肯定的な評価の割合が高い。
- ▲11「懇談時間の設定」と12「目標の説明」については否定的な評価が10%以上である。自分が頑張っていることや目標とすることについて、もっとしっかり話を聞きたい、家の人を交えて相談したいという気持ちが強い。今後は、**生徒を真ん中にして懇談等でさらに丁寧に話をしていく。**
- ▲23「養護教諭等との相談」と24「実習先等との連携」については、「わからない」の割合が高い。生徒がその場面を見る機会が少ないからだと思われる。**生徒が安心できるように、多くの関係者が連携しながら支援をしていることを授業等でも話題にしていく。**